

第5回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催概要

- [日 時] 平成 28 年 2 月 4 日 (木) 12 時から 14 時まで
[場 所] 港南区役所 3 階 2 号会議室
[出席者] 藤田会長、長副会長、五十嵐副会長、福山委員、高柳委員、小林委員、二河委員、山崎委員、大友委員、小玉委員、守分委員、齊藤委員
[議 事] ・平成 28 年度の取組の方向性について

港南区連合町内会長連絡協議会（藤田会長：芹が谷）

● 防災 5 箇条の再徹底

東日本大震災から 5 年目を迎える今年、当時港南区で地域が主体となって考えた『防災 5 箇条』を防災・減災意識を徹底させるために、改めて周知していきたい。

● 各団体と連携して進める地域でできる健康づくり

港南ふれあいウォーキングやラジオ体操の普及啓発など、地域で手軽にできる健康づくりの取組を地域で活動する様々な団体と協力しながら継続していきたい。

● 学び舎ひまわりの充実

学び舎ひまわりの卒業生が各地域で活躍しているという話を聞いている。今後も区社協、区役所と連携しながら学び舎ひまわりを大事にしていきたい。

● できることから始める環境活動

誰もが日々の生活の中で取り組める廃食油（てんぷら油）の回収活動が、環境に対する意識の啓発につながると思う。子どもたちにより良い環境を残すために、できることから始めていきたい。



港南区社会福祉協議会（長副会長：日野）

● 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業

各地域で支えあいの体制を構築していくためには、介護制度の動向など情報の共有が重要となるので、区社協としてはそういった情報の発信に力を入れていきたい。また、区社協を構成しているさまざまな団体への支援を通じて、地域の支えあいを進めていきたい。

● 地区社協活動の推進

区社協としては、地区社協が活動を進めていく上で生じる悩みをできるだけ聞き、他地域の良い事例の情報を提供するなど、地区社協分科会での話し合いに力を入れていきたい。

● 第3期港南ひまわりプラン（地域福祉保健計画）の推進

28 年度は第 3 期港南ひまわりプランの初年度となるので、特に力を入れて地域の方と一緒に計画を進めていきたい。

● フードドライブの継続

今年度始めたフードドライブについては、今後は環境事業推進委員やヘルスメイト、消費生活推進員などと連携しながら広く進めていきたい。

● 地域における権利擁護の推進

あんしんセンター利用者の生活支援や市民後見人の養成と支援を行っていきたい。



港南区民生委員児童委員協議会（五十嵐副会長：日野第一）

● 一斉改選に向けた協力をお願い

今年は3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選の年。欠員を出さないためにも、まずは民生委員・児童委員がどんな活動をしているのかをまずは知ってもらわなければならないと思う。皆さんの協力もいただきながら、民生委員・児童委員の存在や活動をアピールする機会を設けていきたい。



● 民生委員制度創設100周年に向けた準備

来年は民生委員制度創設100周年を迎えるので、区民児協としてどのようなことができるか考えていきたい。皆さんの知恵をお借りしながら進めていきたい。

港南区地区社会福祉協議会分科会（福山委員：日下）

● 住民支えあいマップづくりの推進

50世帯単位で作る『住民支えあいマップ』は、作成の過程で要援護者等の情報を地域の皆さんで共有することができ、地域の防災・減災や見守り・支えあいを進めていくことにもつながるので、ぜひ各地区で進めていただきたい。



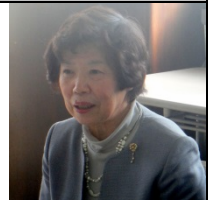
● 住民参加型等市民活動団体分科会との交流の継続

地域での高齢者や子どもに関する問題が複雑化している中で、地区社協としても介護や不登校児童への支援など専門的な部分に関しては住民参加型団体と協力していく必要がある。そのためにも、昨年から開催している交流会を今後も継続し、地域の課題解決に向けて一緒に考えていきたい。

港南区保健活動推進委員会（高柳委員：日野第一）

● 地域の健康づくりの推進

来年度も引き続き、よこはまウォーキングポイント事業の推進や特定健診の普及啓発など地域の健康づくりに取り組んでいきたい。特に、ウォーキングポイントについては手軽に参加でき、少しの距離でも歩くことによって年間医療費の削減につながるという試算も出ているので、ぜひ各団体でも広めてほしい。申込書は区役所や地区センターなどにあるので、まずは手に取っていただきたい。



ウォーキングなどの健康づくり活動を通じて一人ひとりが少しずつ健康意識を高め、健康寿命をのばしていけるよう、会をあげて取り組んでいきたい。

港南区スポーツ推進委員連絡協議会（小林委員：野庭団地）

● 幅広い世代が参加できるグラウンドゴルフ大会の確立

港南区の3大スポーツイベントの1つとして実現を目指しているグラウンドゴルフ大会については、今年は研修会が雨で中止となってしまったが、子どもから高齢者まで楽しめる大会となるよう、引き続き内容を検討していきたい。



● ラジオ体操の普及啓発に向けて

今年度はシルバークラブの協力もあり、さまざまな場面でラジオ体操の普及啓発活動を進めることができた。今後は、そういった各地域からのラジオ体操指導の要望に対応していくためにも、各委員の資格取得を促していきたい。

港南区青少年指導員協議会（二河委員：日野）

● 各事業の継続と他団体との連携

今年が改選期なので、各地域には引き続き推薦をお願いしたい。

改選後に来年度の事業計画を立てていくこととなります。「ゆめワールド」への参加や「ふれあいウォーク」への協力とともに、現在行っている事業については引き続き取り組んでいくことになると思う。また、子どもたちが関わる地域の行事に積極的に参加することで、他団体との連携も深めることができ、青指の活動を進めていく上でもプラスになっています。今後も前向きに参加していきたい。

3月13日には「港南ひまわりウォーク」を開催します。ぜひとも多くの方に参加して欲しい。



港南区消費生活推進員の会（山崎委員：ひざり）

● 地域への情報発信の推進

今年度は活動の場が少しずつ広がり、食や環境といった面でもヘルスメイトや環境事業推進委員と協力し講演会を開催することができた。

来年度は、地域への情報発信を更に進めていくために、まずは全体研修会を行って会員の皆さんとレベルアップをしていきたい。また、全地区の定例会に消費生活推進員が参加していけるよう、各連合町内会と連携していきたい。

3月4日（金）に新都市プラザ（横浜そごう地下2階正面入口前広場）にて街頭キャンペーンを行うので、ぜひ参加して欲しい。



港南区環境事業推進委員連絡協議会（大友委員：日野）

● 「もったいない！」を意識した活動の展開

来年度は、「もったいないという意識」を地域の方々に徹底していきたい。

まちをきれいにするだけでなく、食品ロスの削減など物を大事にすることも啓発していきながら、子どもたちに豊かな横浜「ふるさと港南」を引き継げるよう皆さんと協力しながら取り組んでいきたい。



港南区シルバークラブ連合会（小玉委員：野庭団地）

● 年間行事をより盛んに

シルバークラブの三大目標である「健康」「友愛」「奉仕活動」を基本に、高齢者がいつまでも楽しく健康に過ごせるように盆踊り大会やスポーツ大会といった年間行事を引き続き充実させていきたい。

健康づくりの面では、全市的にラジオ体操の普及がなかなか進まない現状があるが、昨年からグラウンドゴルフ大会等でスポーツ推進委員に来ていただき、ラジオ体操を指導してもらった工夫を取り入れ、少しずつ普及啓発を進めている。



港南区食生活等改善推進委員会（ヘルスメイト）（守分委員：永野）

● 「いざというときの食」（災害備蓄食の考え方）の啓発

家庭にある缶詰や乾物を活用したレシピ（ローリングストックレシピ）を作成し、災害時の食について様々な場面でPRすることができた。この考え方は買い物に行けない高齢者への食を通じた健康づくりにもつながると思うので、今後はそういった点も考慮し、会員と検討していきながらリーフレットのバージョンアップを図っていきたい。



● 健康横浜 21 の推進

あらゆる世代の区民の健康づくりを進めていくために、体操やウォーキングといった運動習慣の定着についても検討していききたい。例えば、高齢者に対してはロコモ体操を行いながらの栄養面の啓発などを考えている。また、ウォーキングについては子どもから大人まで多くの方に「ふるさと港南」を感じてもらえるような七福神めぐりなどの企画を考えていききたい。是非、皆さんと一緒に進めていききたい。

港南区役所（齊藤委員：港南区長）

● 防災の必要性を感じていただくために

1月27日に行われた防災講演会では、20年前の阪神・淡路大震災の発災当日に救援・消火活動にあたった神戸市消防局職員から、当時の映像を交えながら緊迫した状況をお話いただいた。特に、地震発生から4時間後に電気が通ったことによる「通電火災」が一斉に起き、それまでの救助を止めて消火作業にあたらざるを得なくなった話が印象に残っている。



先ほど藤田会長から話があった防災5箇条にも、「電気・ガスの元栓切って」という言葉があるが、今後はこういった言葉とともに、なぜそれが必要かといった理由も説明を加え、区民の皆さんが実際に行動に移せるように進めていきたい。

● 皆さんと楽しく健康づくりを

各地域の賀詞交歓会に行くと、「ラジオ体操やっているよ!」といった声をよく聞く。ラジオ体操をはじめ、ウォーキングや食を通じた健康づくりを皆さんと一緒に楽しく進めていきたい。

● 分かりやすい情報提供

各団体だけではなかなか伝えることが難しいような情報は区役所が率先して提供していききたい。

皆さんの活動を区役所が紹介し、活動に協力したい人たちが増えていくようお手伝いをしていきます。